

第 1 回 水災害調査・対策検討委員会

これまでの取組、課題と対策の方向性について

令和 8 年 9 月 1 8 日



茂 原 市

1 茂原市の概要、過去の水害について

● 茂原市の概要

(1) 位置及び地勢

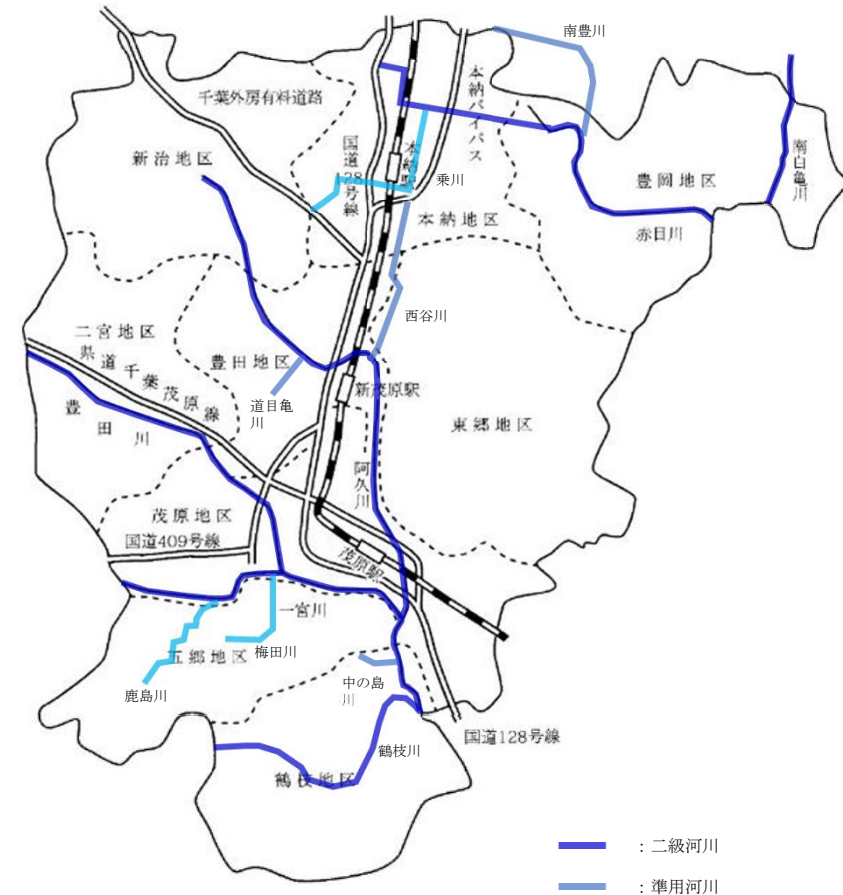
茂原市は、北緯35度22分～35度30分、東経140度15分～140度23分に位置し、千葉県のはぼ中央で都心から70km圏、千葉市から30km圏の距離にある。

広ぼう東西11.7km、南北13.1km、面積は99.92km²で、地勢は大部分が沖積層からなり、西部の山地は洪積層によって形成されている房総洪積台地である。

(2) 茂原市の河川

一宮川水系 : (二) 一宮川、豊田川、鶴枝川、阿久川
(準) 鹿島川、道目亀川、梅田川、
西谷川、中の島川

南白亀川水系 : (二) 南白亀川、赤目川
(準) 乗川、南豊川



● 過去の水害

平成元年、平成8年、平成25年、令和元年、令和5年に浸水被害が発生した。
令和8年8月千葉豪雨でも被害が発生している。



2 茂原市における取組状況について（1/7）

●内水対策等の取組状況（土木関連）

1 内水対策関連事業の実施

- (1)内水対策基本計画策定
酒盛橋樋管・鷺巣稻荷前水門・乗川、小林樋管
- (2)排水施設詳細設計
藤根排水機場、大芝
- (3)排水路整備
東茂原、早野向宿、長谷

2 排水整備事業の実施

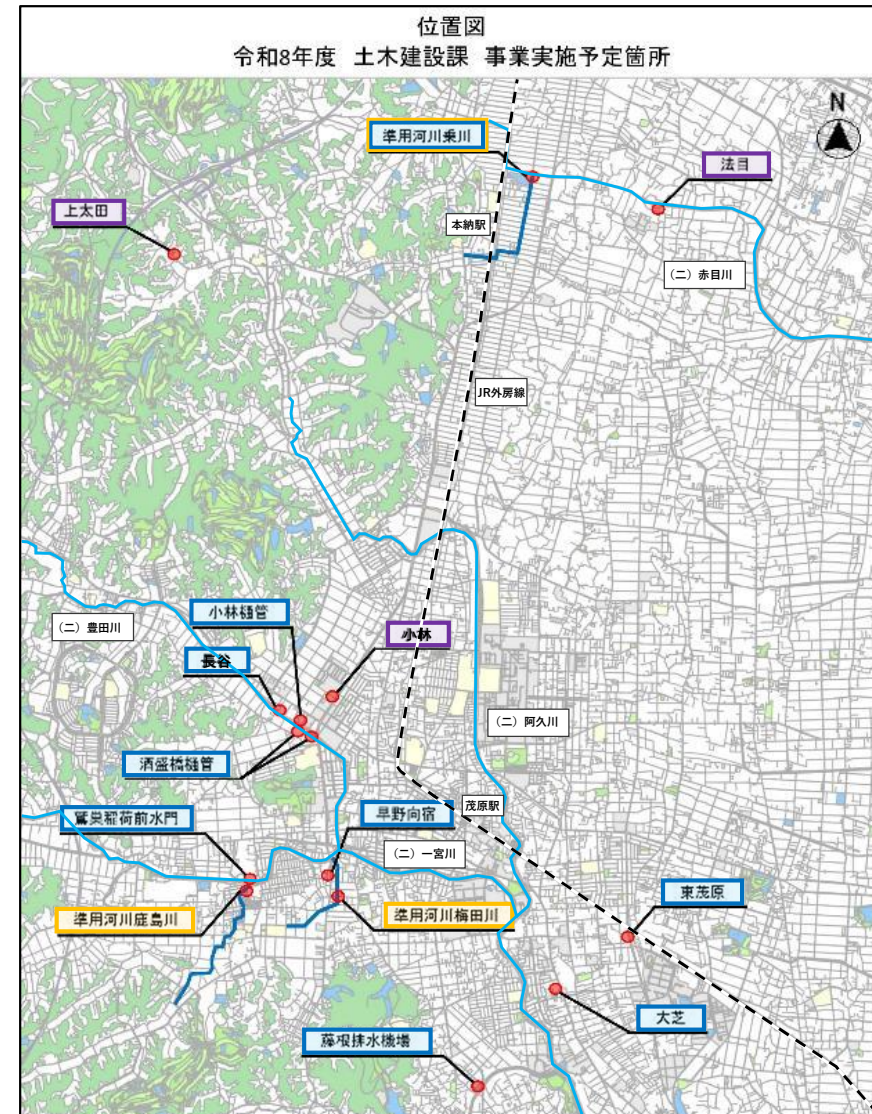
- (1)排水路詳細設計（上太田）
- (2)排水計画検討（法目）
- (3)排水路整備（小林）

3 河川改修事業の実施

- (1)堤防嵩上げ（鹿島川）
- (2)橋梁架け替え（梅田川）
- (3)用地取得（乗川）

4 その他対策（ソフト対策）

- (1)市内ゴルフ場との雨水流抑制に係る協定の推進
- (2)流域治水に係る啓発（広報掲載、出前講座等）
- (3)田んぼダム効果検証業務の実施（一宮川水系）



上図：令和8年度土木建設課事業実施箇所

2 茂原市における取組状況について（2/7）

●内水対策等の取組状況（下水道関連）

- 1 浸水対策工事の実施
 - (1)増補管布設工事の実施（本町排水区）
 - (2)雨水管新設工事の着工（富士見第一ノ一排水区－1工区）
- 2 浸水対策施設設計の実施
 - (1)詳細設計の実施（富士見第一ノ一排水区－2工区）
 - (2)基本設計の実施（町保第三・四排水区）
- 3 雨水管理総合計画の改定
- 4 浸水対策検討の実施
 - (1)早野第一ノ一排水区（緑町）
 - (2)早野第二ノ一排水区（梅田川下流）
 - (3)早野第二ノ二排水区（長清水・明光）
 - (4)本町排水区（高師）
- 5 浸水地区の雨水排水施設の管理
 - (1)本町・千代田地区の雨水桝および側溝清掃
（4～5月に下水道・土木管理課職員で実施した。）



2 茂原市における取組状況について（3 / 7）

●内水対策等の取組状況（維持管理関連）

- 1 雨水貯留施設等設置工事補助制度
（1）補助対象・件数：貯留槽 8 件予定
雨水枳 5 件予定
- 2 冠水注意看板の設置
（1）注意喚起標識設置工事（八千代・腰当・本納）
- 3 排水路浚渫委託の実施
（1）排水路浚渫業務委託（谷本）
（2）排水路浚渫業務委託（法目）
（3）調整池浚渫業務委託（大芝）
（4）都市下水路清掃業務委託
- 4 準用河川浚渫委託の実施
（1）準用河川浚渫業務委託（乗川）



2 茂原市における取組状況について（4 / 7）

●浸水防止対策事業の実施

- ・家屋対象工事
（止水板、耐水住宅、盛土など）
補助額 上限 50 万円
補助件数 8 件予定
- ・設備対象工事  **令和8年度より新設**
（エアコン室外機、給湯器等の嵩上げ）
補助額 上限 10 万円
補助件数 10 件予定



止水板の施工例



室外機嵩上げの施工例

2 茂原市における取組状況について（5-1/7）

●河川水位予測システムについて

●河川水位予測システムとは

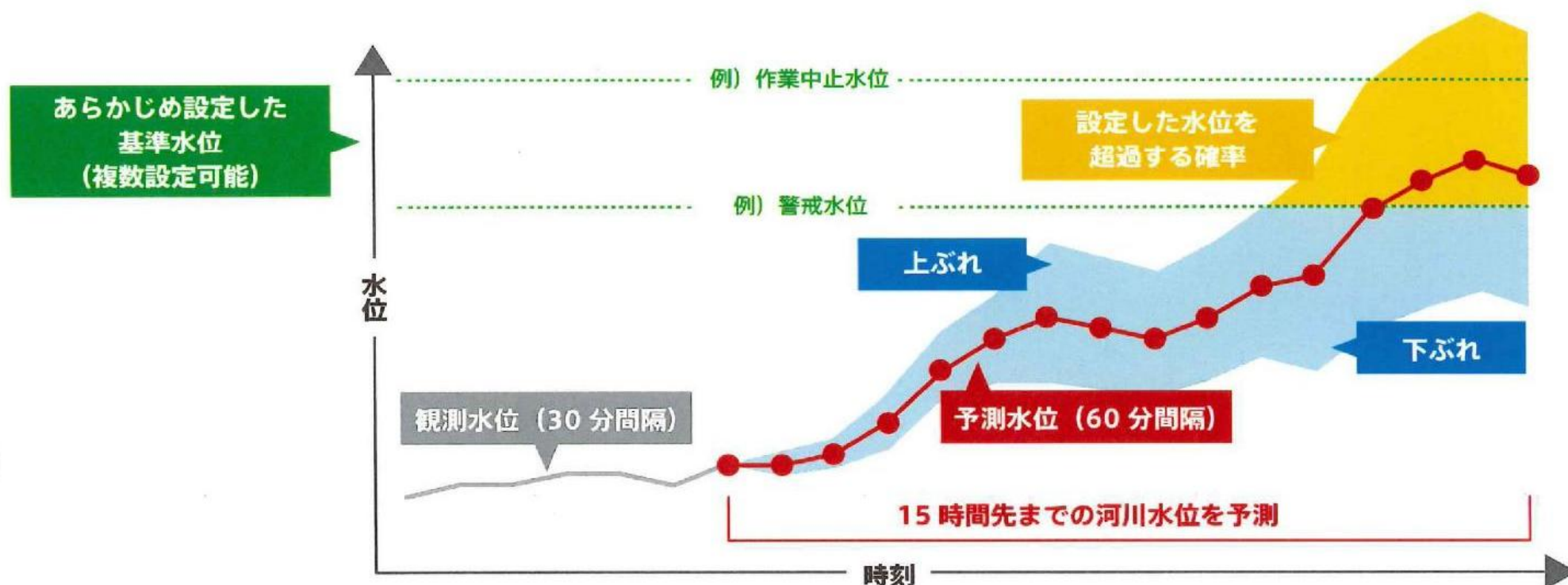
- ・ 気象庁のメッシュ雨量、河川水位、潮位などのデータを基に一宮川流域にあった様々な影響を考慮してモデル構築し、予測する河川地点（早野八千代橋）における水位予測をするもの。
- ・ 通常時は、パソコン、タブレット、スマホからいつでも15時間後の水位情報を取得することができる。
- ・ 「水防団待機水位」、「氾濫注意水位」、「氾濫危険水位」を何時間後に超えるかを確認することができる。
- ・ 水位の確認遅れが無いように、「氾濫危険水位」などの基準水位を超過予測した場合に、登録している防災や水防担当者にアラートメールを通知できるようになる。

2 茂原市における取組状況について（5-2/7）

●河川水位予測システムについて

高精度かつ確率的な予測情報の提供

- 気候変動により激甚化する**未経験規模の洪水**も高精度に予測
- 天気予報の誤差を考慮し**予測の上ぶれ下ぶれ**を表示
- 降水確率のように**設定水位を超える確率**を提供



2 茂原市における取組状況について（5-3/7）

●河川水位予測システムについて

●今後の活用について

- ・この水位予測システムを活用し、あらかじめ災害時の運用基準を定め、職員の判断の負担を軽減しつつ、早期の職員の配備体制の構築、仮設排水ポンプの設置、避難所の開設、住民避難指示等のリードタイム確保に活用している。

2 茂原市における取組状況について（6/7）

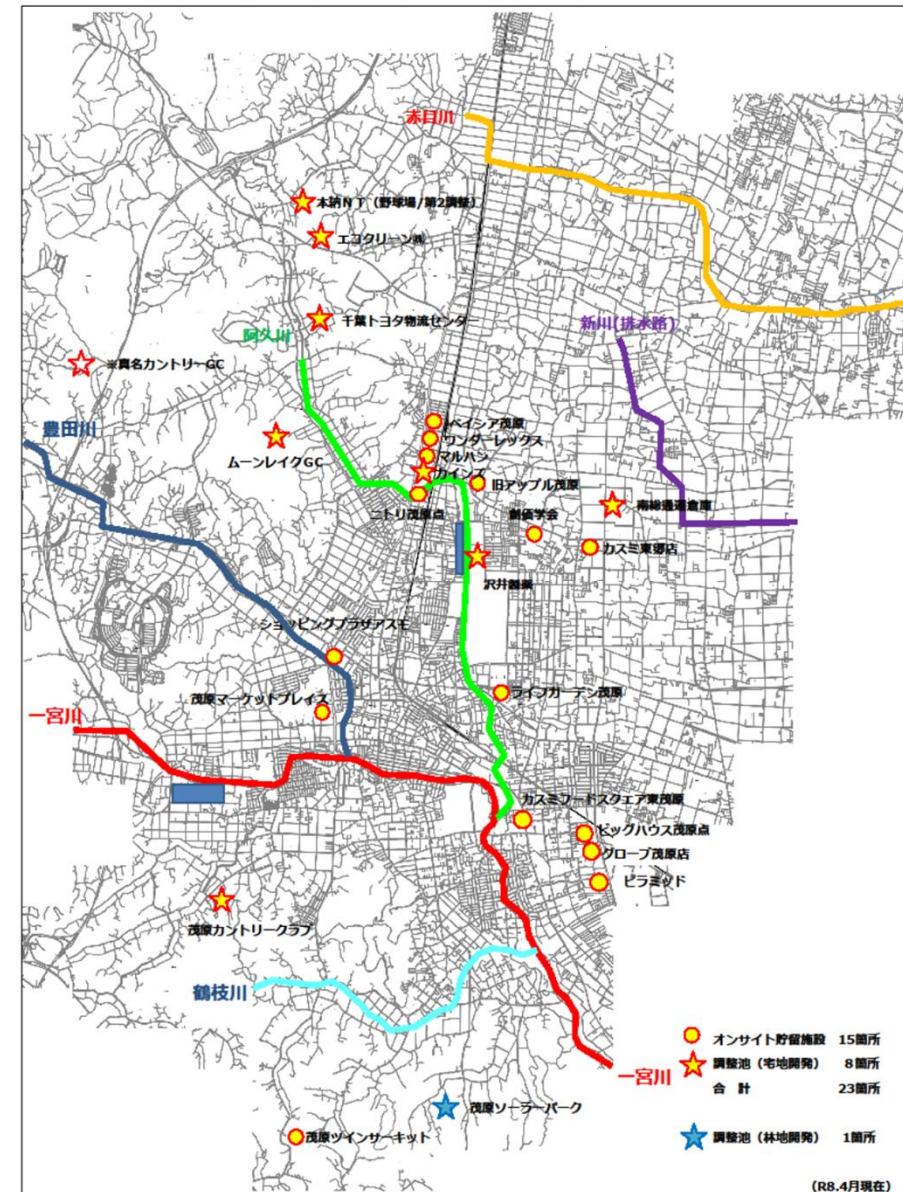
●宅地開発等における貯留対策

【整備基準・管理の依頼】

- ①1ha（10,000m²）以上の開発（県基準）
 - ・雨水流出抑制施設の設置
 - 例：調整池⇒開発規模1haあたり1,600 t 以上
- ②1,000m²以上1ha未満の開発（市基準）
 - ・雨水流出抑制施設の設置
 - 例：宅地分譲⇒1区画あたり雨水浸透枳を2箇所以上敷地を舗装する場合⇒透水性舗装など
- ③大型貯留施設の維持管理の依頼
 - ・大型貯留施設（1ha以上の調整池・オンサイト貯留施設等の管理者に対し、適切な維持管理を依頼(6月初旬)

対象数：24箇所

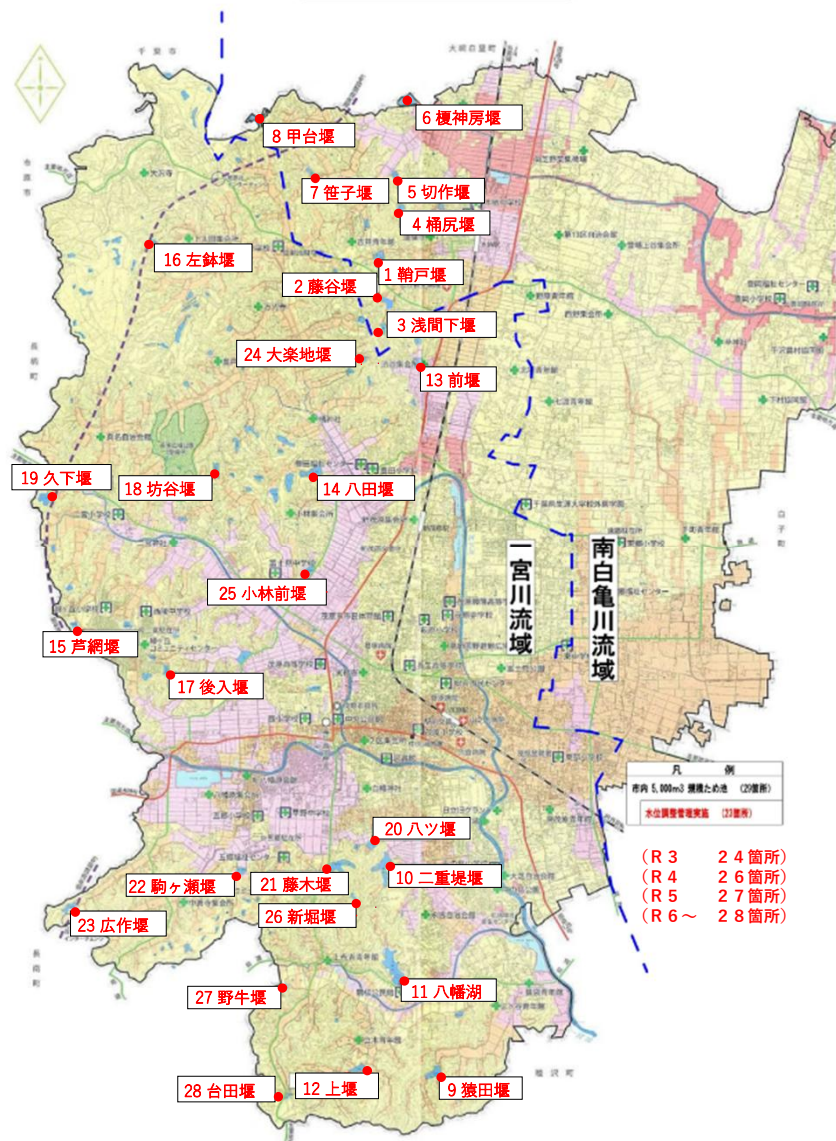
開発行為に伴う調整池等（事業者管理1ha以上）位置図



2 茂原市における取組状況について（7-1/7）

●既存ため池を活用した貯留、田んぼダム取組状況

ため池 位置図



○既存ため池を活用した取り組み

令和6年度から市内28箇所の農業用ため池において、8月15日から12月14日までの4ヶ月間、地元管理団体の方々の協力により水位を下げ、大雨時に雨水を貯留し流出抑制を実施しています。

かんがい期（貯留水位）



水位調整 約140cm落水（参考値）



2 茂原市における取組状況について（7-2/7）

●既存ため池を活用した貯留、田んぼダム取組状況

○田んぼダムの取組状況

令和7年度末

市内6団体・7地区

・柴名・上太田環境保全対策協議会	20.30ha
・早野地域資源保全会	18.86ha
・国府関環境保全会	16.74ha
・立木地区	0.49ha
・真名土地改良施設維持管理組合	0.66ha
・吉井土地改良組合	11.47ha

市内合計 56.39ha → 68.52ha（+12.13ha）

令和7年度は、2団体（2地区）が新たに田んぼダムに取組んだことで12.13ha取組面積が拡大し、市内合計で68.52haの取組みとなりました。

2 茂原市における取組状況について（7-3/7）

●既存ため池を活用した貯留、田んぼダム取組状況

○田んぼダムの取組地区

①柴名・上太田環境保全対策協議会



②早野地域資源保全会



③国府関環境保全会



④立木地区



⑤真名土地改良施設維持管理組合



⑥吉井土地改良組合



3 茂原市における課題と対策の方向性

●茂原市における課題

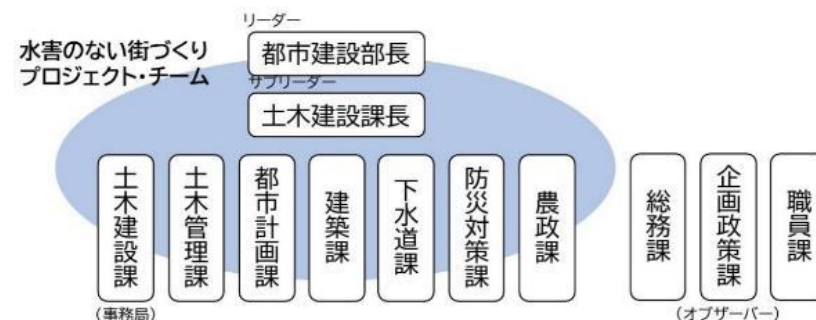
- 課題① 近年の気候変動により激甚化・頻発化する災害への対応
- 課題② 度重なる水害による「浸水するまち」「住みにくいまち」といったマイナスイメージの定着
- 課題③ 排水施設、下水道施設等の老朽化 等

●茂原市における対策の方向性

令和5年9月8日の大雨を契機とし、庁内の関係各課による組織横断的な「茂原市水害のない街づくりプロジェクト・チーム」を設置し、流域治水に関する様々な議論や、各課の情報共有の場としている。

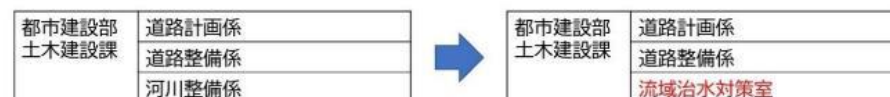
茂原市において過去最大の降雨（時間最大雨量78mm、総雨量405mm）となった令和5年9月8日の大雨に対し、家屋等の浸水被害ゼロを目指すという方針を打ち出し、広報もばらや市ウェブサイトで周知した。

1. 「水害のない街づくりプロジェクト・チーム」の設置（令和6年12月～）



- 庁内関係部局の情報共有と連携を図り、「水害のない街づくり」を推進するため、組織横断的な「水害のない街づくりプロジェクト・チーム」を設置する
- 都市建設部長がリーダー、土木建設課長がサブリーダーを務める

2. 土木建設課流域治水対策室の新設（令和7年4月～）



- 「河川整備係」を「流域治水対策室」に格上げし、浸水対策の一体的な取り組みを推進する
- 「水害のない街づくりプロジェクト・チーム」を所管する